

16 秒後には？

最近、ある高校の卒業式の卒業生総代のスピーチの動画を見ました。彼は自分が何年もかけて努力をし、総代、つまりクラスで首席になるという目標を達成した時に感じた高揚感について語っていました。

その後、彼は自分が感じたことを冷静に観察しました。その高揚感はたった 15 秒ぐらいしか続かなかったのです。彼はもっとその感覚を感じていられると思っていました。花火ぐらい…いや、もっと長く感じていられると。しかし、それは違いました。実際に首席として表彰されたとき、彼は何も感じませんでした。感情の高ぶりが押し寄せると同時に、その感情が消えていきました。それは 15 秒ぐらいの出来事でした。

彼は在校生に向けて夢と目標を持つことと、常にそれを正しく認識しておくことに関して忠告しました。「16 秒後に後悔しないように。」と警告しました。この学生が言ったことは、何年も人々の心をひきつけた Peggy Lee の “Is That All There Is?” (たったそれだけのこと?) という曲を思い起こさせました。私たちは目標達成のために自分の時間や才能、エネルギーを注ぎ込むことができますが、実際にそれを達成してしまうと、想像したような満足感を得られないという事に気づくのです。

多くに人にとって、高校時代は遠い昔のことかもしれません。学生時代も昔のことでしょう。その代わりに、今現在は、おそらくキャリアの真ただ中にいて、ビジネスにおいても私生活においても目標を立てているでしょう。自分のキャリア全体を通して、一日単位、週単位、年単位で目標を立てているでしょう。「(何であれ)これを達成すれば幸せになる」と考えていると思います。私たちは人間関係、心身の健康、今のこの一瞬を楽しんだり、感謝するなど、人生において優先すべきことを忘れてしまいます。なぜならば私たちは目的や目標の方を重要視するからです。

総代はこう指摘しました。私たちは目標を達成します。目標に到達します。そして 15 秒間は高

揚感を味わい、達成感に酔いしれます。しかし、16 秒後には「これだけ? たったこれだけ?」という思いに駆られるのです。

ですから、この優秀な学生の「16 秒後に後悔しないように。」というアドバイスに耳を傾けましょう。これは 21 世紀だけの問題ではありません。何千年も前にも同じようなことが起きていて、それを聖書から学ぶことができます。聖書では違う表現ですが、しかしそれが示すメッセージは同じです。間違った目的に集中しないという事です。

なぜ、永遠 (の命) を得ることができるのに、一時的なもののために努力をするのでしょうか?

あなたは何を持っていますか? 何のために働いていますか? それはあなたが死んでも持っていられるですか? 「あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」 マタイ 6:19-21

永遠に持続するものに注意を払いなさい。

かつて賢明な人がこう言いました。「すべては語られ実行されると、2 つの物だけが残るでしょう。神の言葉と人間です。」もし、これが本当ならば、神との関係や愛する人たちとの関係を深めることを犠牲にして、他のことに打ち込むのは愚かな選択です。「草は枯れ、花はしぼむがわたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。」イザヤ 40:8

私たちの人生は一時的なものと認識する。

聖書では私たちの人生は「霧」のようだと言っています。(ヤコブ 4:14) すぐに消えてしまいます。だからこそ永遠という事に立ち向かうのですが、そうすると何か起きるのでしょうか? 「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。」 マルコ 8:36

もっと深めるために：

1. あなたは特定の目標を達成するために膨大な時間とエネルギーを費やし、この総代が気づ

いたようにそれを達成した喜びはすぐに消えてしまったという事がありますか？どのような経験でしたか？

2. 勝利を得るためのスリル感はほんの一瞬で、しばしば失望感や空虚感に取って代わってしまうのはなぜだと思いますか？
3. 達成感が瞬間的に消えるということの他に、全身全霊で目標達成を目指すことの結果、ネガティブな結果はありますか？
4. 現世的な一時的な視点ではなく、ビジネスでも私生活でも全てのことにに関して永遠なるものに視点を置くのはどういう意味ですか？この点においてあなた自身はどこまでできていますか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

ヨブ 7:7・詩篇 39:4-6・詩篇 144:4・箴言 27:1・伝道者の書 1:2-4、2:1-11、21

この発行はロバート・タマシーによって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。